

参加団体: NPO法人しろい環境塾・印西市ゴミと暮らしを考える会
RCN(NPO法人ラーバン千葉ネットワーク)
北総生きもの研究会・SEN(白井環境ネットワークの会)
白井の自然を考える会・NPOせっけんの街印西・印西サシバ調査グループ・
千葉県総合企画部・千葉県環境生活部自然保護課

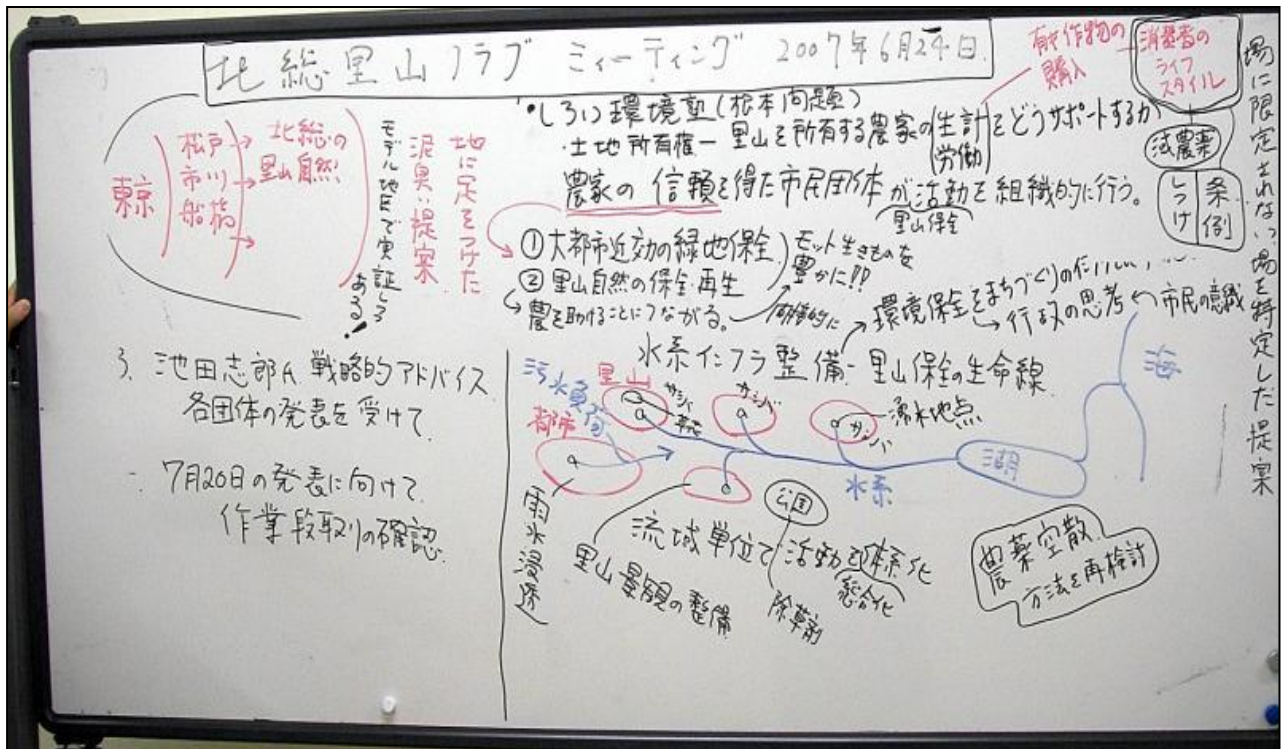
議題

1. 各団体のメインテーマ、具体的取り組み
2. 千葉県国土利用計画(第4次)県企画調査室 横戸俊之氏
3. 戦略的アドバイス(各団体の発表を受けて) 池田志朗氏
4. 7月20日の発表に向けて 作業段取りの確認

1. 各団体のメインテーマ

- ・白井の自然を考える会: 在来植物の保護・・・場の保全、特に草原の価値が高い
谷田・武西地区の保全・・・保全にあたっての課題と対策
利用方法の制限
- ・サシバ調査グループ: サシバは里山生態系の頂点に立つ生物
サシバが生息し続けられる里山の適切な保全
4つの対策提案・・・この提案を具体化するため
市民の力を合わせる
- ・環境ネットワークの会: 各拠点づくりとネットワーク
体系的、総合的学習の取り組み、
持続的活動のための人材育成、資金
- ・せっけんの街印西: 生きものにとっての水資源、水質保全
化学物質の使用管理・・・人の健康、生物多様性
農薬などの有害化学物質の制御
- ・RCN: 水系インフラ整備・・・里山保全の生命線
環境保全をまちづくりのインフラとして実現
⇒行政の思考⇔市民の意識
- ・印西ゴミと暮らしを考える会: 明日のエコでは間に合わない
イベントのゴミ減量、NO CAR DAY
公園、道沿いの除草剤は不必要!
- ・北総生きもの研究会: 生態系として重要、かつ 大地主(企業庁)が持っている地区の保
全

- ・しろい環境塾: 土地所有権・・・里山を所有する農家の生計・労働をどうサポートするか?
農家の信頼を得た市民団体が里山保全活動を組織的に行う



議題2, 3. については、北総里山クラブグループページに資料を載せてありますので
ご覧下さい。

4. 次回集まり：県への提案を資料として取りまとめる作業

日時：7月5日（木） 時間：7時～9時

場所：白井市保健福祉センター2階会議室

参加者:RCN(丹澤)、しろい環境塾(上西・森田)、東邦大学理学部(長谷川)

白井の自然を考える会(岩本)、サシバ調査グループ(塚 義・初)、白井せっけんの街(柿沼)、北総生きもの研究会(長谷川・相馬な)、印西ゴミと暮らしを考える会(小山)

白井環境ネットワーク・環境カウンセラー(辻川)、・・・略団体名

・進行:丹澤 ・背景説明、コーディネイト:長谷川 ・資料説明:上西 ・記録:相馬(な)

・配布資料 : ちば生物多様性県民会議役員会 (上西)

北総地域の守りたい自然と歴史景観、谷田・武西谷津は特別な場所 (長谷川)

北総里山タウンミーティング報告レジュメ

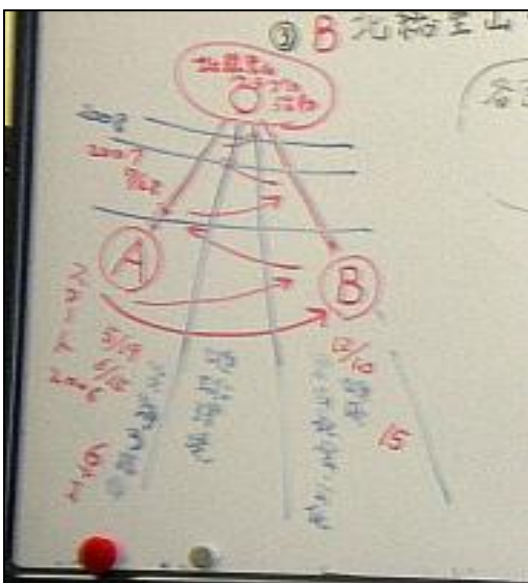
北総生きもの研究会の活動指針 (長谷川)

事業計画 (RCN)

議題

- ① 会議主旨説明+背景説明
- ② A ちば生物多様性県民会議へのグループ提案
- ③ B 北総里山クラブとしての活動方針
- ④ その他

①・主旨説明



(左図) の説明 : 長谷川先生

・スタートは 2006 年 5 月 19 日に谷田・武西地域の生物多様性保全の要望書提出。6 月 15 日に県から視察があった。(6 団体+1 団体)

・その後、北総里山クラブとなって 北総地域で地球温暖化防止の地域活動、生物多様性保全活動、里山保全活動をしている 15 団体の総意としてこの地域の生物を守っていこうというタウンミーティングを行った。

・今度、7 月 28 日の県民会議に向けて再び 生物多様性、地球環境、里山社会文化、地球を守るための 15 団体の戦略グループ会議を開くという経緯。

“里山に囲まれたまちづくり” 実現のために、山の頂上に一直線に登るというのではなく、振り子のように歩きながら頂上を目指していこうというところを全体の共通認識として持っていただきたい。

・ 背景説明・・・谷田・武西の問題も

をしたいという私たちの要望を現在千葉県が策定を進めている「(仮称)生物多様性ちば戦略」に取り込んでもらうために、ちば生物多様性県民会議に提案して行く。

千葉県は、戦略がまとまり次第(9月)、来年度以降具体的に事業化する意向を明らかにしている。

*** 県民会議への提案の締め切り 7月28日**

② **A ちば生物多様性県民会議へのグループ提案** **緊急**行政の力を引き出す提案

- ・谷田・武西の保全(大都市近郊のまとまった緑を残す)を具体的に示す
- ・新しい里山保全の企画(地域経済を考えた長期的里山プロジェクト)をもちこむ

スケジュール：6月9日 代表者会議

24日 池田さんからの提案・各グループ資料提出

〇〇日 代表者会議(資料整理)

7月20日 **戦略グループ会議「北総域の生物多様性保全」**(100人規模想定) 19:00～

28日 **県民会議**へ提出

③ **B 北総里山クラブとしての活動方針**(自主的長期活動)

・・・・・・・・・・・・・・・・・・活動の体制を具体的に示す

◆各団体 活動内容のすりあわせ

- ・北総地域の流域地図の作成

北総地域全体の保全すべき拠点 と 活動の現状を地図に落とし見える化していく

参考:鶴見川流域ネットワーク TRネット

<http://www.tr-net.gr.jp/>

◆各団体 活動内容のスケジュール化

- ・北総地域全活動団体の年間活動計画の作成

いつ、どこで、何があるのか……をこの地域に住んでいる人達に発信していく

……緊急課題ではないので、年活動計画が出ているところは

北総里山グループページに 各々アップして下さい。

◆ミッションの共有……『**里山に囲まれたまちづくり**』

④ **名簿の取り扱いについて**

- ・タウンミーティングで記入してもらった名簿を 北総里山クラブ構成団体の催事に使

用することについて

- ・北総里山クラブ事務局が発信する際にのみ、名簿を活用
各団体の情報は、北総里山クラブ発行の紙面に各団体からの活動案内を載せること
で対応。
- ・名簿保管 相馬

追：宿題

各団体グループのメインテーマ、具体的取り組みを書いてきてもらう。
県へ提出する資料のたたき台になります。 6月24日の会議までに提出

次回の会合

6月24日(日) 午後1:30~4時

白井市保健福祉センター2階会議室

尚、会場は10時から押さえてありますので、
ミーティングなどで使用されたいグループは、お使い下さい。

以上

